

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-151	21-094	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
Alcohol consumption and risk of Alzheimer's disease: A dose-response meta-analysis 飲酒量とアルツハイマー病リスク：量反応関係メタ分析		
執筆者		
Xie C, Feng Y.		
掲載誌		
Geriatr Gerontol Int. 2022 Apr;22(4):278-285. doi: 10.1111/ggi.14357.		
キーワード	PMID	
アルツハイマー病、メタ分析	35171516	
要 旨		
目的： 飲酒量とアルツハイマー病リスク：との関連を明らかにすることを目的とする。		
方法： 2019年9月にPubMedとWeb of Scienceデータベースを系統的に検索した。飲酒量とアルツハイマー病リスクとの関連は相対危険と95%信頼区間で評価した。アルコールの種類、人種、研究デザイン、性別によるサブグループ分析も行った。飲酒量の量反応関係メタ解析を行った。		
結果： 13の研究を質的検討に用い、6つの研究を量反応関係メタ分析に用いた。非飲酒者に比べ、飲酒者はアルツハイマー病リスクが低かった(相対危険 0.68, $P < 0.001$)。サブグループ分析では、ワイン摂取がリスクを低下させた(相対危険 0.71)。飲酒量とアルツハイマー病リスクとの関連は非線形であった。男性では週14.8ドリンクからリスク上昇があった。女性では週16.9ドリンク未満からリスク低下が見られた。		
結論： 飲酒はアルツハイマー病リスクを低下させる可能性がある。関連は非線形であるが、飲酒量との関連は性によって異なった。		